

やまぐちっ子学力向上だより

第 8 8 号 H29.9.27
山口県教育庁義務教育課

全国学力・学習状況調査の結果が公表されました

「平成29年度全国学力・学習状況調査」の結果が公表されました。各学校の分析結果を踏まえ、今後の校内研修や家庭・地域への情報提供等の参考として御活用ください。

1 教科に関する結果

(1) 全体の結果

○小学校では、区分によって差はあるものの、概ね全国平均と同程度である。
○中学校では、全ての区分で全国平均を上回っている。

(2) 各教科の結果

平成29年度から、都道府県等における各区分の平均正答率は整数値での提供に変更されました。なお、全国の前平均正答率は小数第1位まで提供されています。

【小学校】

区分	平均正答率 (%)	
	山口県	全 国
国語A	76	74.8
国語B	58	57.5
算数A	79	78.6
算数B	45	45.9

○国語A・Bともに、全ての領域で全国平均を上回っています。
○算数Aでは「数と計算」「図形」「数量関係」、算数Bでは「量と測定」の領域で全国平均を上回っています。

【中学校】

区分	平均正答率 (%)	
	山口県	全 国
国語A	79	77.4
国語B	73	72.2
数学A	66	64.6
数学B	49	48.1

○国語A・Bともに、全ての領域で全国平均を上回っています。
○数学Aでは全ての領域、数学Bでは「数と式」「図形」「資料の活用」の領域で全国平均を上回っています。

これらの結果については、子どもたちのがんばりや先生方のきめ細かな指導、日々の授業改善への取組など、地道な努力の成果であると捉えています。一方、割合や複数の条件に沿った作文など、継続した課題が見られる問題もあります。誤答分析を効果的に進め、引き続き指導の充実・改善を図っていくことが求められます。

やまぐちっ子学力向上だより第86号では、誤答分析のポイントについて「類型化」することを例に挙げ、具体的にお示ししました。各学校においては自校採点結果を基に、学校の組織的な取組が進んでいることと思います。さらに10月学力定着状況確認問題を活用し、これまで進めてきた取組の検証改善を進め、各学校の課題改善に向け、必要に応じて取組の修正をお願いします。授業改善のヒントとして「誤答分析に基づいた授業改善」の3つのポイントをお示しますので参考にしてください。

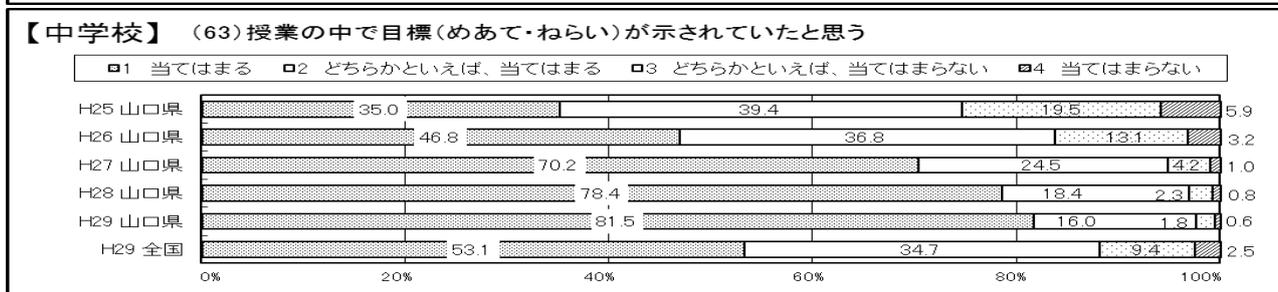
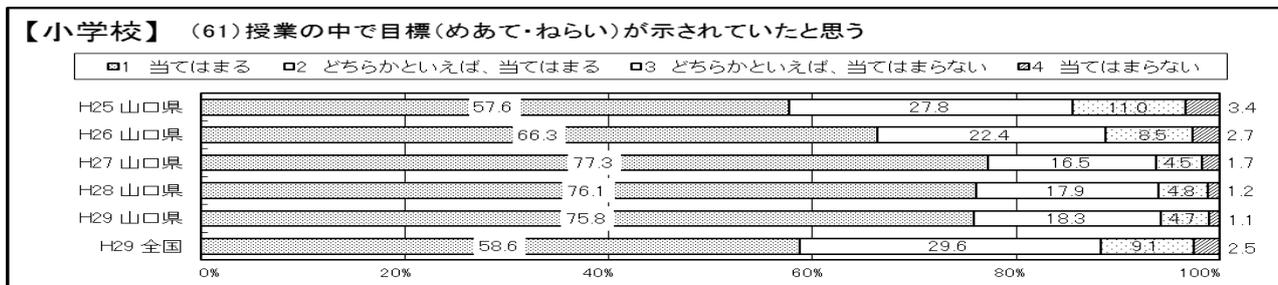
- 1 つまずきの「焦点化」…対象とする課題を絞り込む
- 2 働きかけの「具体化」…課題克服のために実施する取組を決める
- 3 取組の「日常化」…当たり前のこととして定着させる



2 児童生徒質問紙に関する結果

(1) 望ましい状況

学校の授業	<input type="radio"/> 授業の中で目標（めあて・ねらい）が示されていたと思うと回答した子どもの割合 <input type="radio"/> 授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていると思うと回答した子どもの割合 <input type="radio"/> 授業で学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていたと回答した子どもの割合 <input type="radio"/> 授業で、自分の考えを発表する機会が与えられていたと回答した子どもの割合
地域との関わり	<input type="radio"/> 地域社会などでボランティア活動へ参加したことがある子どもの割合



授業の中で目標（めあて・ねらい）を示すことについて、肯定的に回答した児童生徒の割合は全国に比べて高い結果でした。また、学校質問紙で目標を示す活動を計画的に取り入れたと回答した学校の割合と児童生徒質問紙との差についても、平成25年度と比較すると、小学校は14.3ポイントから5.6ポイント、中学校は20.6ポイントから2.5ポイントと大幅に縮小しており、取組が進んでいることがわかります。

しかしながら、振り返りについては児童生徒の肯定的な回答結果は全国と比べて高いものの、小・中学校ともに学校質問紙との差は15ポイント程度あり、まだまだ両者の意識には差があるという結果でした。

(2) 課題の見られる状況

家庭での生活習慣	<ul style="list-style-type: none"> ●新聞を読んでいる子どもの割合 ●平日1日あたり、1時間以上テレビゲームをする子どもの割合 ●平日1日あたり、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする子どもの割合
----------	---

その他、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」「人の役に立つ人間になりたい」など、全国と比べて肯定的な回答は高いものの、平成28年度調査の結果から減少している質問項目もあります。各学校において、道徳の時間の授業や体験活動など、様々な場面での指導の充実を図ることが大切です。

県教委は、その他にも今年度の山口県の調査内容について詳細な分析結果をHPに掲載しています。現状をしっかりと把握するとともに、子どもたちの学びのつまずきやその背景にあるものを捉え、**各学校それぞれの課題に応じた取組を推進することが大切です。**ぜひ、右記のHPも御確認いただきますようお願いいたします。

山口県の結果については

全国の結果については